

超音波検査オンライン教育への取り組み

◎服部 博明、橋本 潔¹⁾、杉原 誉明²⁾、熊木 裕輔³⁾
はしもとクリニック内科・呼吸器科¹⁾、鳥取大学医学部附属病院消化器内科²⁾、くまのこ検査技師塾³⁾

私は鳥取県で臨床検査技師として、これまで複数の病院に勤務してきた。現在はフリーランスの臨床検査技師としてクリニックを拠点に活動している。

いずれの病院でも「臨床検査技師の超音波検査教育」の在り方に大きな課題を感じてきた。

日本超音波検査学会の2009～2010年の調査によると、超音波検査教育は主に「先輩技師による指導・研修会への参加・独学」に依っていた。

大都市では人材が豊富であり、先輩技師による指導も行きやすく、研修会も頻繁に開催されており、教育機会に恵まれている。しかし、鳥取県のような地方都市では、各病院に超音波の専門家がいるとは限らず、人的余裕もないため日常業務と並行して指導を行うことは先輩技師にとっても大きな負担になっているのが実情と考えられる。

さらに交通の便が悪いため、物理的に学会・研修会への参加が困難という問題もある。

しかし、昨今のコロナ禍によって学会・研修会の様相が大きく変化した。日本超音波医学会や日本超音波検査学会、

そして本学会のようにWEB配信による学会開催を余儀なくされた事により、地方の技師でも容易に参加することが可能となった。

ただし、WEB開催の学会だけでは日常の疑問の解決やスキルアップを目指すには不十分と考えられる。その現状を踏まえ、私自身はフリーランス臨床検査技師として、東京の転職サポート会社である「メドフィット」、埼玉の事業所である「くまのこ検査技師塾」と提携してオンラインエコーセミナーやオンラインコミュニティを通じた技師教育に携わることでそのニーズに応える取り組みを行っている。オンライン教育では、学会や研修会よりも時間的な制約が少ないことや、提示する症例について受講者からのチャット機能を用いた質問も気軽に行えることでよりきめ細かな対応ができ、スキルアップにつながっていると実感している。

今回は、私が行っている超音波検査のオンライン教育に関する活動事例を報告する。

連絡先－09041409280